

法人税の達人(平成 22 年度版)from 農業簿記10

運用ガイド

この度は、「法人税の達人（平成 22 年度版）from 農業簿記 10」をご利用いただき誠にありがとうございます。

「法人税の達人（平成 22 年度版）from 農業簿記 10」は、ソリマチ株式会社の「農業簿記」の会計データを「法人税の達人」に取り込むためのプログラムです。このマニュアルでは、「法人税の達人（平成 22 年度版）from 農業簿記 10」のインストール手順や操作手順について説明しています。



目次

1.対応製品	3
2.動作環境	4
3.インストール方法	5
パターン①「達人 Cube」からアップデートする場合	5
パターン②「達人」オフィシャルサイトからファイルをダウンロードする場合	9
4.運用方法	11
パターン①「農業簿記」と「法人税の達人」が同一コンピュータにインストールされている場合..	11
パターン②「農業簿記」と「法人税の達人」が別のコンピュータにインストールされている場合..	12
5.操作方法	13
パターン①「農業簿記」と「法人税の達人」が同一コンピュータにインストールされている場合..	13
パターン②「農業簿記」と「法人税の達人」が別のコンピュータにインストールされている場合..	17
6.連動対象項目	23
「農業簿記」から連動するデータ（連動元）	23
「法人税の達人」に連動するデータ（連動先）	24
貸借対照表	26
損益計算書	27
製造原価報告書	28
株主資本等変動計算書等	29
7.アンインストール方法	31
8.著作権・免責等に関する注意事項	32

1.対応製品

「法人税の達人（平成 22 年度版）from 農業簿記 10」に対応する NTT データの対応製品及びソリマチの対応製品は以下のとおりです。

対応製品	対応アプリケーション
NTT データ対応製品	法人税の達人（平成 28 年度版） Professional Edition
	法人税の達人（平成 28 年度版） Standard Edition
ソリマチ対応製品	農業簿記 10
	農業簿記 10 J Aバージョン

2.動作環境

「法人税の達人（平成 22 年度版）from 農業簿記 10」に必要な動作環境は「1.対応製品」（P.3）に記載の「ソリマチ対応製品」と同様です。



注意

- ・ 「法人税の達人（平成 22 年度版）from 農業簿記 10」のインストールやプログラムの起動を行うには、「1.対応製品」（P.3）に記載の「ソリマチ対応製品」のいずれかがインストールされている必要があります。
- ・ 「法人税の達人（平成 22 年度版）from 農業簿記 10」の起動中に、「農業簿記」の起動、及びアンインストールを行うことができません。

3.インストール方法

「法人税の達人（平成 22 年度版）from 農業簿記 10」をインストールする手順は、「達人 Cube」からアップデートする方法と「達人」公式サイトからファイルをダウンロードする方法の 2 パターンあります。

注意

- ・ インストール作業中に「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがあります。その場合は「はい」ボタンをクリックして作業を進めてください（必要に応じてパスワードを入力します）。
- ・ 既に「法人税の達人（平成 22 年度版）from 農業簿記 10」をインストールしている場合は、アンインストールしてから最新の「法人税の達人（平成 22 年度版）from 農業簿記 10」をインストールしてください。

パターン①

「達人 Cube」からアップデートする場合

1. 「達人 Cube」にログインし、[アップデート]をクリックします。



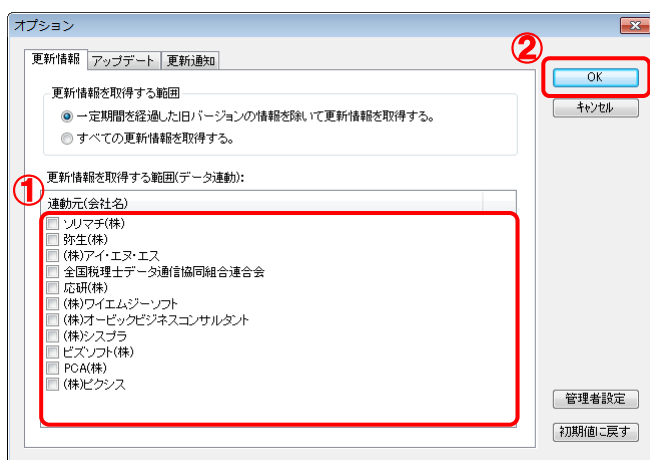
[アップデート] 画面が表示されます。

2. ユーティリティ[オプション]をクリックします。



[オプション] 画面が表示されます。

3. [更新情報]タブー[更新情報を取得する範囲(データ連動)]において該当の[連動元(会社名)]をクリックしてチェックを付け(①)、[OK]ボタンをクリックします(②)。



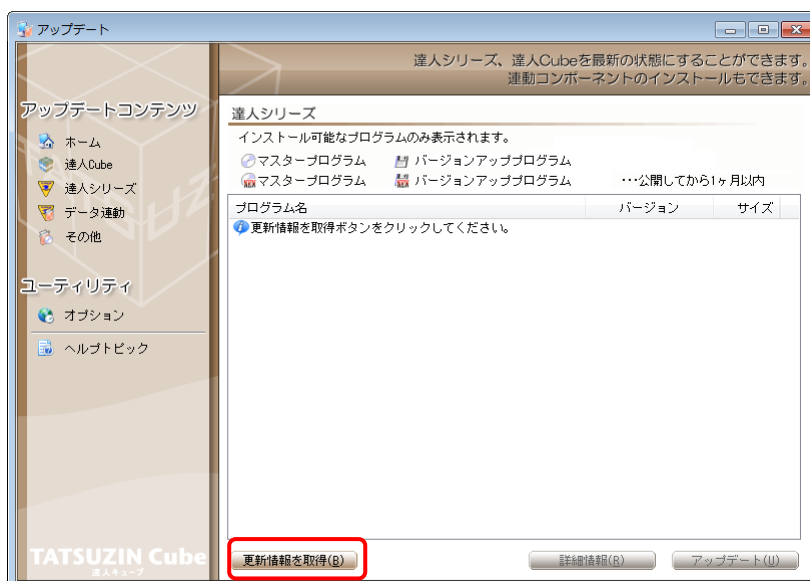
[アップデート] 画面に戻ります。

4. アップデートコンテンツ[データ連動]をクリックします。



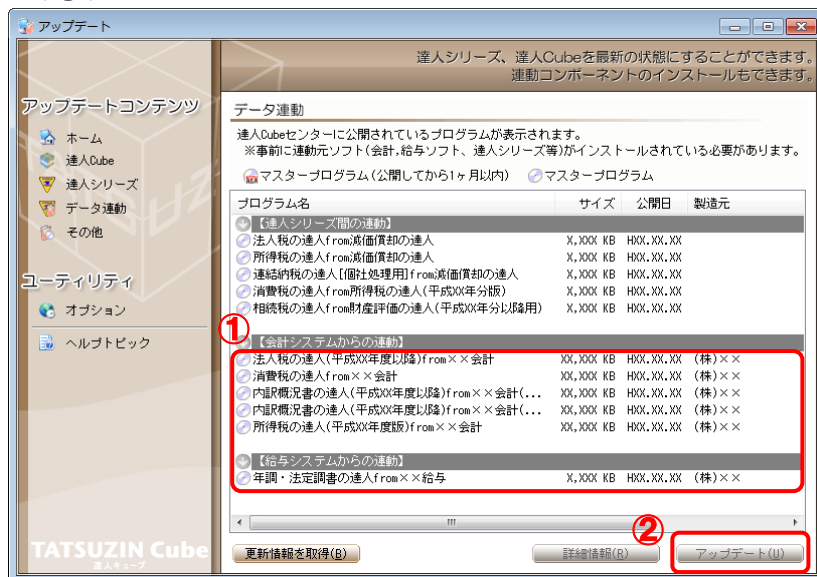
[データ連動] 画面が表示されます。

5. [更新情報を取得]ボタンをクリックします。



連動コンポーネントが表示されます。

6. 該当の連動コンポーネントをクリックして選択し(①)、[アップデート]ボタンをクリックします(②)。



[InstallShield Wizard] 画面が表示されます。

7. [次へ]ボタンをクリックします。

[インストール先の選択] 画面が表示されます。

8. インストール先のフォルダを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

[確認] 画面が表示されます。

※ インストール先を変更する場合は[参照] ボタンをクリックします。

9. [はい]ボタンをクリックします。

インストールが開始されます。

10. [InstallShield ウィザードの完了]画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

以上で、「法人税の達人(平成 22 年度版) from 農業簿記10」のインストールは完了です。

パターン②

「達人」オフィシャルサイトからファイルをダウンロードする場合

1. 「達人」オフィシャルサイトの連動会計・給与ソフトのページ
(<http://www.tatsuzin.info/rendousoft/>)を開きます。



2. 該当の連動会計・給与ソフトメーカーの[連動コンポーネントをダウンロードする]ボタンをクリックします。
該当の連動会計・給与ソフトメーカーの最新の連動コンポーネント一覧画面が表示されます。
3. 該当の連動コンポーネントの[連動コンポーネントをダウンロードする]ボタンをクリックします。
画面の一番下に通知バーが表示されます。
4. [保存]ボタンの右端にある[▼]ボタンをクリックし、表示されるメニュー[名前を付けて保存]をクリックします。
[名前を付けて保存] 画面が表示されます。
5. 保存する場所を指定し、[保存]ボタンをクリックします。
保存する場所に指定した場所に、ファイルがダウンロードされます。

- 6.** 手順 5 でダウンロードしたファイルをダブルクリックします。
[InstallShield Wizard] 画面が表示されます。
- 7.** [次へ]ボタンをクリックします。
[インストール先の選択] 画面が表示されます。
- 8.** インストール先のフォルダを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。
[確認] 画面が表示されます。
※ インストール先を変更する場合は [参照] ボタンをクリックします。
- 9.** [はい]ボタンをクリックします。
インストールが開始されます。
- 10.** [InstallShield ウィザードの完了]画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

以上で、「法人税の達人（平成 22 年度版）from 農業簿記 10」のインストールは完了です。

4.運用方法

「法人税の達人（平成 22 年度版）from 農業簿記 10」は、「農業簿記」のデータから中間ファイルを作成します。

データ取り込みの操作方法は、「農業簿記」と「法人税の達人」が同一コンピュータにインストールされているかどうかで異なります。

パターン①

「農業簿記」と「法人税の達人」が同一コンピュータにインストールされている場合

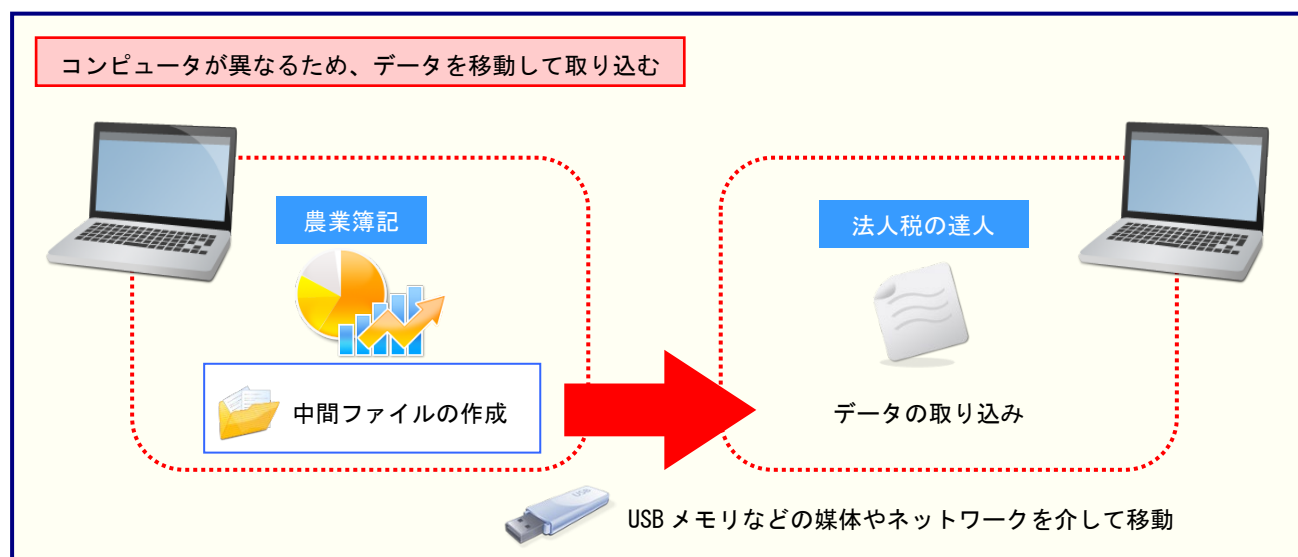
「法人税の達人（平成 22 年度版）from 農業簿記 10」で作成された中間ファイルを直接「法人税の達人」に取り込みます。



パターン②

「農業簿記」と「法人税の達人」が別のコンピュータにインストールされている場合

「農業簿記」がインストールされているコンピュータで中間ファイルを作成し、「法人税の達人」がインストールされているコンピュータで取り込みます。



5.操作方法

「法人税の達人（平成 22 年度版）from 農業簿記 10」を使って、以下の手順で連動します。

事前に「6.連動対象項目」（P.23）を必ずお読みください。

操作手順は、「農業簿記」と「法人税の達人」が同一コンピュータにインストールされているかどうかで異なります。



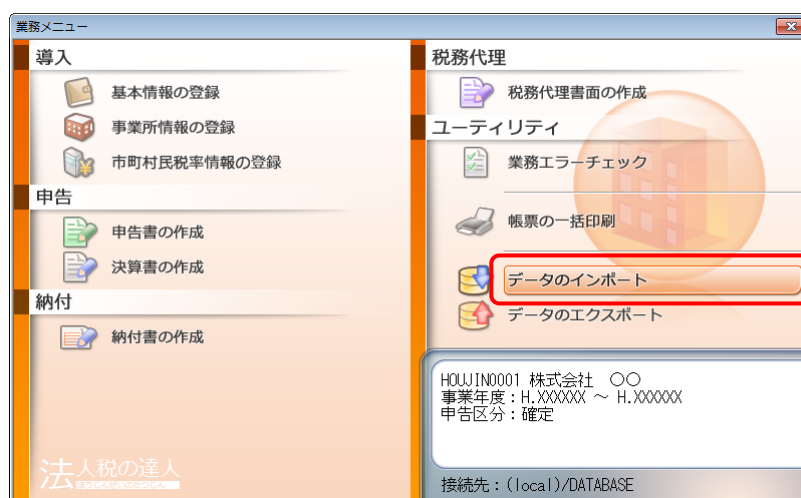
注意

「農業簿記」側での経営形態が『法人』のデータのみ連動できます。『個人』のデータは連動できません。

パターン①

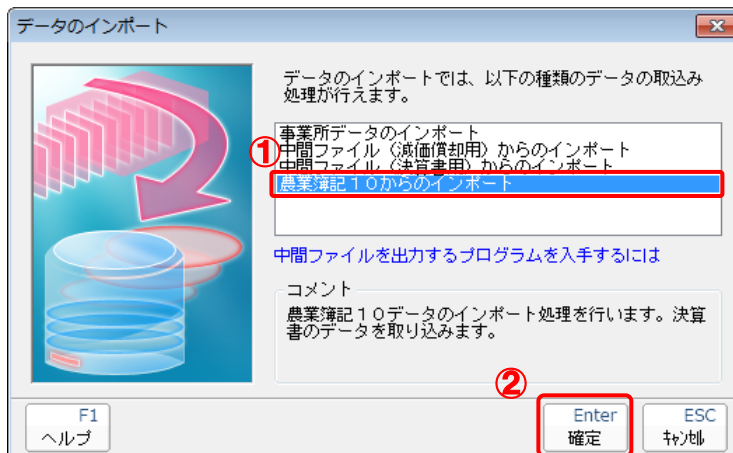
「農業簿記」と「法人税の達人」が同一コンピュータにインストールされている場合

1. 「法人税の達人」を起動してデータを取り込む顧問先データを選択し、業務メニュー[データのインポート]をクリックします。



[データのインポート] 画面が表示されます。

2. [農業簿記10からのインポート]をクリックして選択し(①)、[確定]ボタンをクリックします(②)。



[データ選択] 画面が表示されます。

3. 「法人税の達人」に取り込む「農業簿記」のデータをクリックして選択し(①)、[選択]ボタンをクリックします(②)。



[決算書 — 集計条件] 画面が表示されます。

4. 集計期間を設定し(①)、[実行]ボタンをクリックします(②)。

決算書 - 集計条件

事業所名 : 株式会社 ○○

会計期間 : XXXX/XX/XX~XXXX/XX/XX

集計期間 : ① X 月度 ~ X 月度(E)

株主/社員資本 : ☒ 株主資本等変動計算書の情報を出力する(K)
☐ 社員資本等変動計算書の情報を出力する(M)

等変動計算書の選択

出力先(F) : D:\Users\NTTDATA\AppData\Local\Temp\TzTemp0780004238BD\H 参照(D)...

② 実行(F8) キャンセル(ESC)

[インポート対象設定] 画面が表示されます。

5. [インポート対象帳票]を設定し(①)、[確定]ボタンをクリックします(②)。

インポート対象設定

① インポート対象帳票

- ☒ 貸借対照表
- ☒ 損益計算書
- ☒ 製造原価報告書
- ☒ 株主資本等変動計算書

・インポート対象を選択します。

※ 上記の欄にデータが存在する場合は上書きされます。

② Enter 確定 ESC キャンセル

取込設定についてのメッセージが表示されます。

6. [OK]ボタンをクリックします。

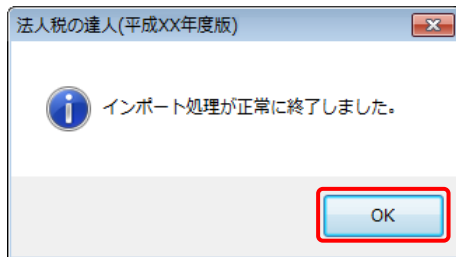
法人税の達人(平成XX年度版)

いくつかの科目が未設定の状態で行われました。
「決算書の作成」の取込設定により科目を設定してください。

OK

終了画面が表示されます。

7. [OK]ボタンをクリックします。



[業務メニュー] 画面に戻ります。データの作成（中間ファイルの作成）が終了すると同時に、「法人税の達人」にデータが取り込まれます。

以上で、データの取り込みは完了です。



注意

連動後には、「法人税の達人」側で取込設定を行う必要があります。詳細な手順については『法人税の達人 運用ガイド』－「付録」－「決算書を作成する」－「科目の取り込み設定を行う」をご確認ください。

パターン②

「農業簿記」と「法人税の達人」が別のコンピュータにインストールされている場合

1. Windows のスタートメニュー[すべてのプログラム]－[達人シリーズ]－[連動コンポーネント]－[法人税の達人(平成 22 年度版)from 農業簿記10]をクリックします。

[データ選択] 画面が表示されます。

※ Windows 10の場合は、Windowsのスタートメニュー [すべてのアプリ] － [達人シリーズ] － [連動コンポーネント] － [法人税の達人（平成22年度版）from農業簿記10] をクリックします。

Windows 8.1 の場合は、[アプリ] 画面に表示されている [法人税の達人（平成 22 年度版）from 農業簿記10] をクリックします。

2. 「法人税の達人」に取り込む「農業簿記」のデータをクリックして選択し(①)、[選択] ボタンをクリックします(②)。



[決算書 － 集計条件] 画面が表示されます。

3. 集計条件を設定し(①)、[参照]ボタンをクリックします(②)。

決算書 - 集計条件

①

事業所名 : 株式会社 ○○

会計期間 : XXXX/XX/XX~XXXX/XX/XX

集計期間 : ☐ 年度 ~ ☐ 年度(E)

株主/社員資本等変動計算書の選択 : ☒ 株主資本等変動計算書の情報を出力する(K) ☐ 社員資本等変動計算書の情報を出力する(M)

出力先(F) : D:\Users\NTTDATA\Documents\法人税(決算書用)_株式会社 ○○

②

参照(D)...

実行(F8) キャンセル(ESC)

[保存ファイルを指定] 画面が表示されます。

※ 「農業簿記」では「社員資本等変動計算書」の作成はできませんが、ラジオボタンの選択により「社員資本等変動計算書」としてインポート可能です。

4. [ファイルの場所](①)と[ファイル名]を指定し(②)、[保存]ボタンをクリックします(③)。

保存ファイルを指定

①

ファイルの場所(D) : マイドキュメント

名前	更新日時	種類
Sorimachi	XXXX/XX/XX XX:XX	ファイル フォルダ

②

ファイル名(N): 法人税(決算書用)株式会社 ○○ XXXX

③

保存(S)

キャンセル

ファイルの種類(T): 中間ファイル(*.xml)

[決算書 - 集計条件] 画面に戻ります。

※ 出力先のファイル拡張子にはxmlを指定してください。

5. [実行]ボタンをクリックします。

決算書 - 集計条件

事業所名 : 株式会社 ○○

会計期間 : XXXX/XX/XX~XXXX/XX/XX

集計期間 : 月 度 ~ 月 度 (E)

株主/社員資本 : ☒ 株主資本等変動計算書の情報を出力する (K)
等変動計算書の選択 ☐ 社員資本等変動計算書の情報を出力する (M)

出力先 (F) : D:\Users\%NTTDATA%\Documents\%法人税(決算書用)_株式会社 ○ 参照 (D)...

実行 (F8) キャンセル (ESC)

終了画面が表示されます。

6. [OK]ボタンをクリックします。

法人税の達人 (決算書)

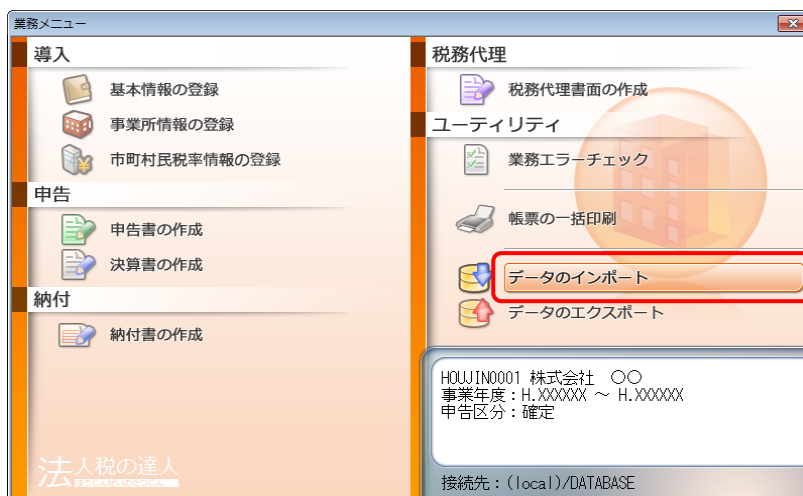
集計結果を正常に出力しました。

OK

手順 4 で指定した出力先に、中間ファイルが作成されます。

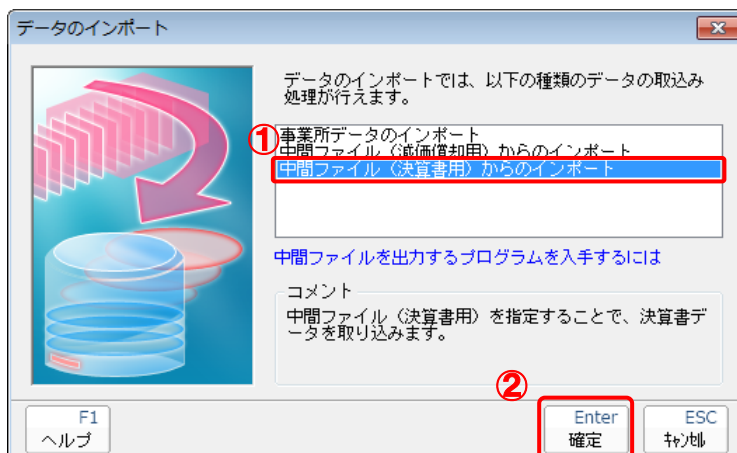
7. 作成された中間ファイルを、USB メモリなどの媒体やネットワークを介して「法人税の達人」がインストールされているコンピュータに移動します。

8. 「法人税の達人」を起動して中間ファイルを取り込む顧問先データを選択し、業務メニュー-[データのインポート]をクリックします。



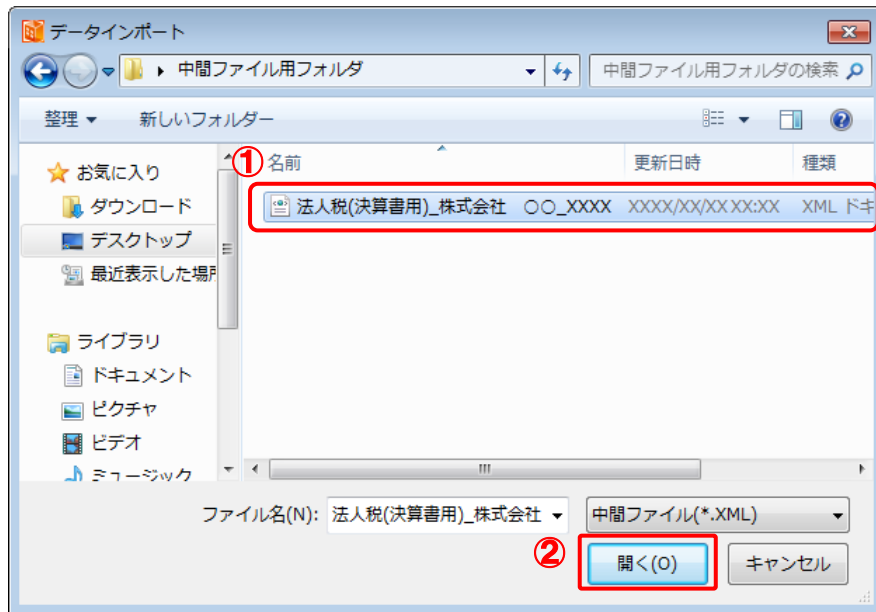
「データのインポート」画面が表示されます。

9. 「中間ファイル(決算書用)からのインポート」をクリックして選択し(①)、[確定]ボタンをクリックします(②)。



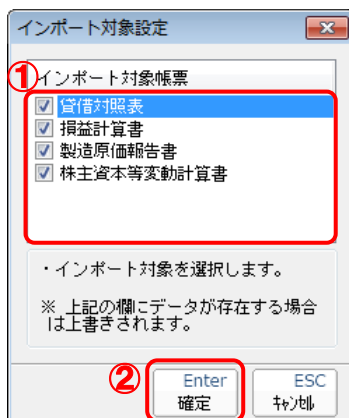
「データインポート」画面が表示されます。

10. 作成した中間ファイルをクリックして選択し(①)、[開く]ボタンをクリックします(②)。



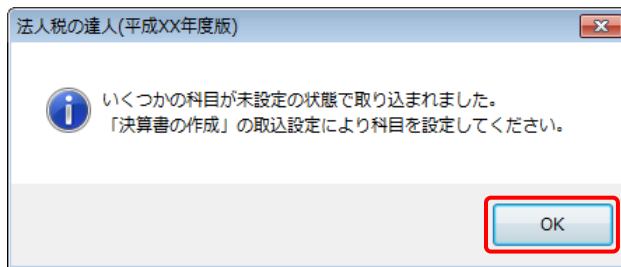
「インポート対象設定」画面が表示されます。

11. 「インポート対象帳票」を設定し(①)、[確定]ボタンをクリックします(②)。



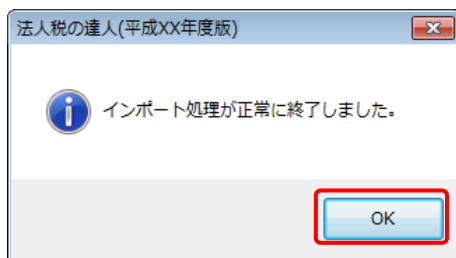
取込設定についてのメッセージが表示されます。

12. [OK]ボタンをクリックします。



終了画面が表示されます。

13. [OK]ボタンをクリックします。



[業務メニュー] 画面に戻ります。

以上で、データの取り込みは完了です。

注意

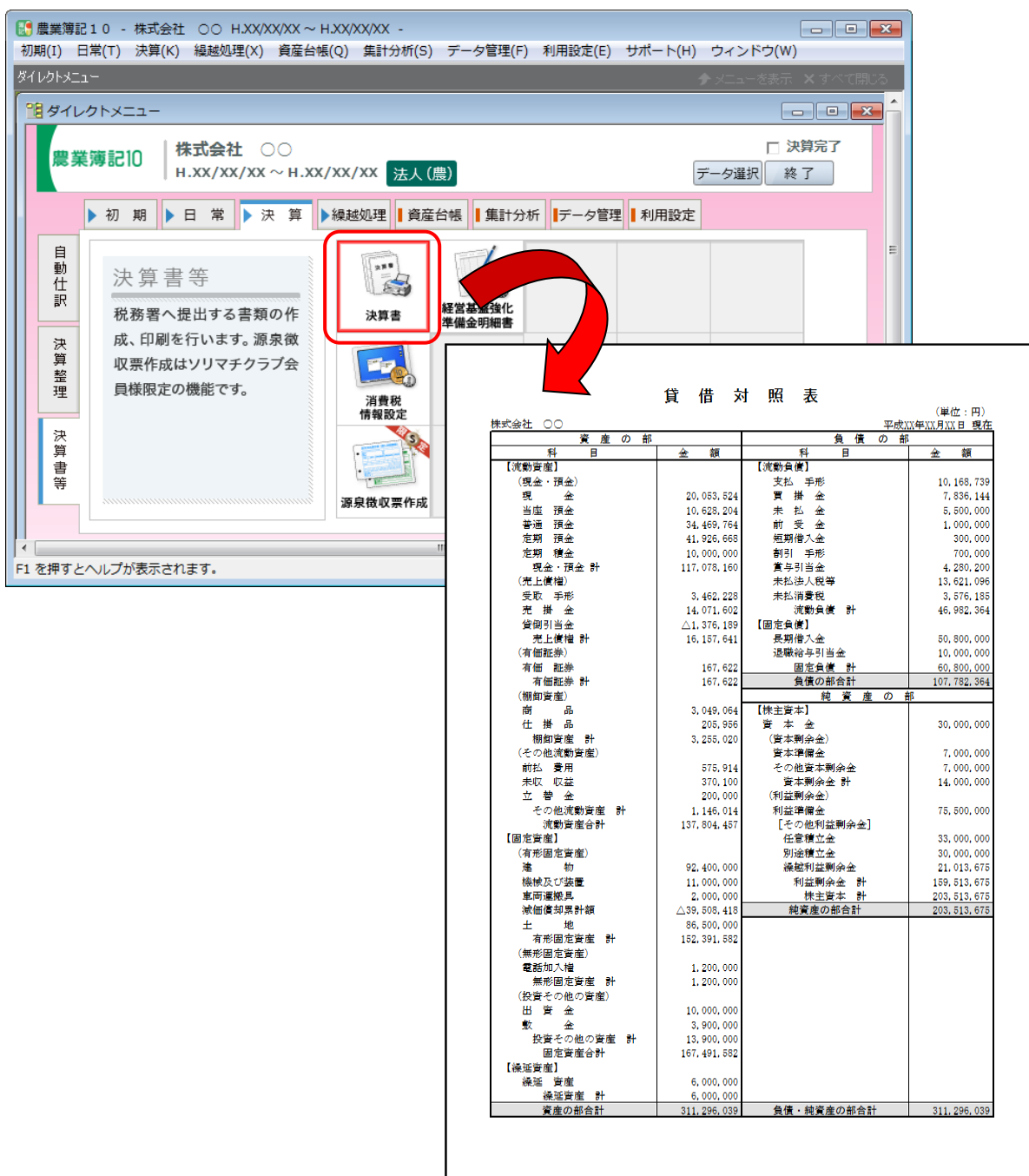
連動後には、「法人税の達人」側で取込設定を行う必要があります。詳細な手順については『法人税の達人 運用ガイド』－「付録」－「決算書を作成する」－「科目の取り込み設定を行う」をご確認ください。

6.連動対象項目

「法人税の達人（平成 22 年度版）from 農業簿記 10」では、「農業簿記」の決算書よりデータを取り込みます。

「農業簿記」から連動するデータ(連動元)

「農業簿記」からはダイレクトメニュー「決算書等」タブー「決算」タブー「決算書」のデータが連動されます。



The screenshot shows the '農業簿記10' software interface. The 'ダイレクトメニュー' (Direct Menu) is open, and the '決算書等' (Financial Statements) tab is selected. Within this tab, the '決算' (Financial Statement) sub-tab is active, and the '決算書' (Financial Statement) icon is highlighted with a red box. A red arrow points from this icon to a detailed balance sheet table.

貸借対照表 (Balance Sheet)

株式会社 ○○ 平成XX年XX月XX日 現在 (単位: 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		支払 手形	10,168,739
現 金	20,083,524	買 掛 金	7,836,144
当座 預金	10,628,204	未 払 金	5,500,000
普通 預金	34,469,764	前 受 金	1,000,000
定期 預金	41,926,668	短期借入金	300,000
定期 積金	10,000,000	割引 手形	700,000
現金・預金 計	117,078,160	貸与引当金	4,280,200
(売上債権)		未払法人税等	13,621,096
受取 手形	3,462,228	未払消費税	3,576,185
売 掛 金	14,071,602	流動負債 計	46,982,364
貸倒引当金	△1,376,189	【固定負債】	
売上債権 計	16,157,641	長期借入金	50,800,000
(有価証券)		退職給付引当金	10,000,000
有価 証券	167,622	固定負債 計	60,800,000
有価証券 計	167,622	負債の部合計	107,782,364
(棚卸資産)		純 資 産 の 部	
商 品	3,049,064	【株主資本】	
仕 掛 品	205,856	資 本 金	30,000,000
棚卸資産 計	3,255,020	(資本剰余金)	
(その他流動資産)		資本準備金	7,000,000
前払 費用	575,914	その他資本剰余金	7,000,000
未収 収益	370,100	資本剰余金 計	14,000,000
立 替 金	200,000	(利益剰余金)	
その他流動資産 計	1,146,014	利益準備金	75,500,000
流動資産合計	137,804,457	[その他利益剰余金]	
【固定資産】		任意積立金	33,000,000
(有形固定資産)		別途積立金	30,000,000
建 物	92,400,000	繰越利益剰余金	21,013,675
機械及び装置	11,000,000	利益剰余金 計	159,513,675
車両運搬具	2,000,000	株主資本 計	203,513,675
減価償却累計額	△39,508,418	純資産の部合計	203,513,675
土 地	86,500,000		
有形固定資産 計	152,391,582		
(無形固定資産)			
電話加入権	1,200,000		
無形固定資産 計	1,200,000		
(投資その他の資産)			
出 資 金	10,000,000		
敷 金	3,900,000		
投資その他の資産 計	13,900,000		
固定資産合計	167,491,582		
【繰延資産】			
繰延 資産	6,000,000		
繰延資産 計	6,000,000		
資産の部合計	311,296,039	負債・純資産の部合計	311,296,039

「法人税の達人」に連動するデータ(連動先)

「法人税の達人」に連動する帳票は以下のとおりです。次ページ以降の各画面の網掛け部分が連動対象項目です。

決算書

貸借対照表

損益計算書

製造原価報告書

株主資本等変動計算書

社員資本等変動計算書

※農業簿記では「社員資本等変動計算書」の作成はできませんが、連動コンポーネントのラジオボタンの選択により「社員資本等変動計算書」としてインポート可能です。



注意

・ 設定について

「法人税の達人」にデータが取り込まれた直後、可能な限り自動的に設定が行われます。データを取り込んだのち、「法人税の達人」の「取込設定」画面にて設定を確認してください。

取込設定 (貸借対照表)

インポートされた項目の金額を法人税の達人で使用する科目に設定します。
設定後<F11 取込実行>キーを押下すると金額が決算書に反映されます。

法人税の達人で使用する科目が未設定の場合はインポートされた項目の金額は決算書に反映されません。該当項目で<Enter 選択>キー押下により科目の選択を行ってください。

インポートされた項目	金額	法人税の達人で使用する科目
流動資産		
普通預金	12,710,807	普通預金
仕掛品	-1,505,754	仕掛品
繰停仮払金	5,393,823	
短期貸付金	850,000	短期貸付金
未収入金	-9,967,735	未収入金
有形固定資産		
建物	37,807,802	建物
構築物	2,728,629	構築物
機械及び装置	18,508,969	機械及び装置
車両運搬具	2,041,102	車両運搬具
土地	2,372,820	土地
無形固定資産		
電話加入権	30,000	電話加入権
投資その他の資産		
出資金	60,000	出資金
流動負債		
未払金	-10,875,675	未払金
預り金	-601,065	預り金
仮受金	5,572	仮受金
農用地利用集積準備金	15,200,000	
農業経営基盤強化準備金	28,000,000	

F1 ヘルプ
F2 開じる
F7 全消去
F9 印刷
F11 取込実行
Enter 選択

・ 注記について

「農業簿記」で入力した注記の内容は連携しません。

データを取り込んだのち、「法人税の達人」の「個別注記表」にて入力してください。

- 株主資本等変動計算書について（会社法 H18.5 施行に対応した会計データのみ）
「農業簿記」で入力した変動事由の入力内容は連携しません。
データを取り込んだのち、「法人税の達人」の「株主資本等変動計算書」にて入力して該当する個所に入力してください。
- 利益処分計算書注記－利益処分数、損失処理額について
農業簿記のシステム上の理由により、「利益金処分数」「損失金処理額」には同等のデータが出力されます。どちらの値を使用するかは、データを取り込んだのち、「法人税の達人」の「取込設定」にて指定してください。
- 損失金処理の際の設定について
損失金処理計算書を出力する場合は、データを取り込んだのち、「法人税の達人」の「決算書の設定」にて「株主資本等変動計算書等」を「損益金の処分表」に設定してください。

決算書の設定

計算期間: 平成 XX 年 XX 月 XX 日 ~ 平成 29 年 XX 月 XX 日

株主資本等変動計算書等: 株主資本等変動計算書

貸借対照表の個別表示パターン: 一括処理

1. 流動資産

貸倒引当金: 一括処理

2. 有形固定資産

減価償却累計額: 科目別掲記

減損損失累計額: 科目別掲記

減価償却累計額及び減損損失累計額: 科目別掲記

3. 販売費及び一般管理費

費目別掲記

商品売上原価と製品製造原価の区分掲記

Ctrl+ 確定

ESC キャンセル

貸借対照表

決算書の作成

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 株主資本等変動計算書 個別注記表

検索 黒字科目：基礎勘定科目 灰字科目：拡張勘定科目

科目	金額	説明
資産の部		資産合計
流動資産		流動資産合計
当座資産		
現金及び預金		現金及び預金合計
現金		
小口現金		
預金		
当座預金		
郵便振替貯金		
普通預金		
郵便貯金		
通知預金		
納税準備預金		
貯蓄預金		
その他の流動性預金		
定期預金		
定期積金		
積立預金		
別段預金		
特定金銭信託		
その他の固定性預金		
その他の預金		
受取手形(純額)		純額

☒ 金額又は値がない拡張勘定科目を表示しない
☐ 金額又は値がない科目を表示しない

F1 ヘルプ
 F2 閉じる
 F3 検索
 F5 企業情報
 F7 利益処分
 F9 印刷
 F11 取込設定
 F12 漢字
 Enter 選択

損益計算書

決算書の作成

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 株主資本等変動計算書 個別注記表

検索 黒字科目：基礎勘定科目 灰字科目：拡張勘定科目

科目	金額	説明
営業活動による収益		
商品売上高		純額
商品総売上高		総額
売上値引及び戻り高		プラスの金額を登録 商品売上の値引戻り
製品売上高		純額
製品総売上高		総額
売上値引及び戻り高		プラスの金額を登録 製品売上の値引戻り
半製品売上高		
副産物売上高		
作業くず売上高		
割賦販売売上高		純額
割賦総売上高		総額
売上値引及び戻り高		プラスの金額を登録 割賦販売売上の値引戻り
貸貸収入		純額
貸貸総収入		総額
売上値引及び戻り高		プラスの金額を登録 貸貸収入の値引戻り
加工料収入		
完成工事高		純額
兼業事業売上高		純額
兼業売上高		
兼業売上値引戻り高		
兼業売上割戻		
商品製品等売上高		純額

☒ 金額又は値がない拡張勘定科目を表示しない

☐ 金額又は値がない科目を表示しない

F1 ヘルプ
F2 閉じる
F3 検索
F5 企業情報
F7 利益処分
F9 印刷
F11 取込設定
F12 漢字
Enter 選択

製造原価報告書

決算書の作成

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 株主資本等変動計算書 個別注記表

検索 黒字科目：基礎勘定科目 灰字科目：拡張勘定科目

科目	金額	説明
仕入原価		
期首たな卸高		
商品仕入高		
仕入値引・戻し高		
合計		
期末たな卸高		
材料費		当期材料費合計額を登録
期首原材料たな卸高		
当期原材料仕入高		
非課税原材料仕入		
薬品仕入高		
診療材料仕入高		
給食材料仕入高		
医療消耗備品仕入高		
原材料仕入値引戻し高		プラスの金額を登録
原材料割戻し高		プラスの金額を登録
その他の原材料仕入高		
合計		
期末原材料たな卸高		プラスの金額を登録
主要材料費		
補助材料費		
労務費		当期労務費合計額を登録
建設労務費		

☒ 金額又は値がない拡張勘定科目を表示しない

☐ 金額又は値がない科目を表示しない

F1 ヘルプ
F2 閉じる
F3 検索
F5 企業情報
F7 利益処分
F9 印刷
F11 取込設定
F12 漢字
Enter 選択

株主資本等変動計算書等

株主資本等変動計算書

決算書の作成

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 株主資本等変動計算書 個別注記表

検索 黒字科目：基礎勘定科目 灰字科目：拡張勘定科目

科目	金額	説明
株主資本		
資本金		
前期末残高		
当期変動額		
新株の発行		
当期変動額合計		集計表示
当期末残高		
資本剰余金		
資本準備金		
前期末残高		
当期変動額		
新株の発行		
当期変動額合計		集計表示
当期末残高		
国庫等補助金		
前期末残高		
当期変動額		
当期変動額合計		
当期末残高		
指定寄付金		
前期末残高		
当期変動額		
当期変動額合計		

☒ 金額又は値がない拡張勘定科目を表示しない
☐ 金額又は値がない科目を表示しない

Enter 選択

社員資本等変動計算書

決算書の作成

貸借対照表

損益計算書

製造原価報告書

株主資本等変動計算書

個別注記表

検索

黒字科目：基礎勘定科目

灰字科目：拡張勘定科目

注記事項	設定内容
継続企業の前提に関する注記	
重要な会計方針に係る事項に関する注記	
資産の評価基準及び評価方法	
有価証券の評価基準及び評価方法	
たな卸資産の評価基準及び評価方法	
固定資産の減価償却の方法	
引当金の計上基準	
収益及び費用の計上基準	
その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項	
金利の取得原価算入	
その他	
項目名	
内容	
会計処理の原則又は手続の変更	
表示方法の変更	
貸借対照表に関する注記	
担保資産及び担保付債務	
資産の部から直接控除した貸倒引当金	
流動資産	
投資その他の資産	
有形固定資産の減価償却累計額	
保証債務額	
受取手形割引高	

☒ 金額又は値がない拡張勘定科目を表示しない
☐ 金額又は値がない科目を表示しない

F1 ヘルプ

F2 閉じる

F3 検索

F5 企業情報

F7 利益処分

F9 印刷

F11 取込設定

F12 漢字

Enter 選択

6.連動対象項目

30

7.アンインストール方法

「法人税の達人（平成 22 年度版）from 農業簿記 1 0」をコンピュータからアンインストールするには、以下の手順で行います。



注意

アンインストール作業中に「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがあります。その場合は「はい」ボタンをクリックして作業を進めてください（必要に応じてパスワードを入力します）。

1. Windows のスタートメニュー[コントロールパネル]をクリックします。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

※ Windows 10の場合は、Windowsのスタートボタンを右クリックし、表示されるメニューから「コントロールパネル」をクリックします。

Windows 8.1 の場合は、「アプリ」画面に表示されている「法人税の達人（平成 22 年度版）from 農業簿記 1 0」を右クリックし「アンインストール」をクリックし、手順 3 に進みます。

2. 「プログラムのアンインストール」をクリックします。

「プログラムのアンインストールまたは変更」画面が表示されます。

※ 「コントロールパネル」画面をアイコン表示にしている場合は、「プログラムと機能」をクリックします。

3. 「法人税の達人(平成 22 年度版)from 農業簿記10」をクリックして選択し、「アンインストールと変更」をクリックします。

「ようこそ」画面が表示されます。

4. 「削除」を選択した状態で「次へ」ボタンをクリックします。

アンインストールが開始されます。

5. 「メンテナンスの完了」画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリックします。

以上で、「法人税の達人（平成 22 年度版）from 農業簿記 1 0」のアンインストールは完了です。

8.著作権・免責等に関する注意事項

- ・ 「法人税の達人（平成 22 年度版）from 農業簿記 10」のソフトウェア製品全体の著作権、工業所有権の一切の知的財産権はソリマチ株式会社に帰属するものとします。
- ・ 「法人税の達人（平成 22 年度版）from 農業簿記 10」の複製物（バックアップ・コピー）は、不慮の事故に備えて 1 部のみ作成することができます。
- ・ 「法人税の達人（平成 22 年度版）from 農業簿記 10」を使用した結果の損害及び影響について、原因のいかんを問わず、弊社及びソリマチ株式会社は一切の賠償の責任を負いません。
- ・ 「法人税の達人（平成 22 年度版）from 農業簿記 10」のプログラム及びドキュメント等の一部または全部をどのような場合でもその形態を問わず無断で解析・改造・配布等を行うことはできません。
- ・ 「法人税の達人（平成 22 年度版）from 農業簿記 10」のソフトウェア製品仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。

**法人税の達人(平成 22 年度版)from 農業簿記10
運用ガイド**

平成 31 年 1 月 19 日改訂版
